

# 平成29年度 自己評価表

学校評価委員会 開会日時 平成29年12月8日(金) 14:00~15:00

教育方針：教育基本法及び学校教育法の精神に則り、高等学校通信制の課程(普通科・単位制)の特色を生かした教育を進め、豊かな人間性と自律・自立の力を養い、人のため、社会のために貢献する人間を育成する。

- 重点努力目標：① 生きる力の育成(感謝の心を育む教育の推進・自己教育力の育成と人間力の向上・基本的な生活習慣の指導の徹底・人権・健康・安全に留意した学校生活)  
 ② 確かな学力の育成(わかる授業の実践と基礎学力の向上・定着、各コースの特色をいかした学習プログラムの確立・生徒の学力に応じた指導法の工夫・自ら学び、考える力の育成)  
 ③ キャリア教育の推進(正しい職業観・勤労観の育成、模試の活用と面接指導の充実、長期目標設定シートの有効活用、保護者と連携した進路指導、専門学校との連携)

領域	項目	具体的取組目標	評価	目標達成状況	学校関係者評価・提言	次年度改善策	
学習指導	授業を充実させるための教育環境づくりの徹底	授業時間前の行動の指導の徹底	B	遅刻した場合は、職員室によらせて教室に行かせるとともに授業へ集中できるような指導に努めている。	・特進クラスの講師の先生・クラス編成について、2年から3年になるときに変化があったが、生徒に納得のいく説明をもっとしてほしかった。 ・レポートの作成について、生徒の中には早く返却された生徒のレポートを写している生徒がいるようであるので、レポートの提出期限を検討してほしい。 ・「学び直し」の取組を推進してほしい。	基本的な生活習慣の定着を図る指導を保護者にも協力を依頼しながら進めていく。時間に遅れないことが、社会人として大切であることの理解を進める指導に取り組む。 学級担任が中心になり、教師から働きかけることを大切にし、温かな人間関係を育む教室経営を行う。	
		授業開始・終了のあいさつ及び服装チェックの励行	B	ICT授業の開始に伴いけじめをつけさせる指導に努めている。また、個々に応じた対応を継続しているが、指導の徹底が課題である。			家庭環境や生徒の背景を教職員で情報交換し、一人一人に応じた対応に心がける。
		怠惰な生徒への指導の徹底	B	学級担任を中心に個別対応に努力している。レポート等の提出については、生徒の状況によっては徹底できていないのが現状である。			生徒のつまづきを確認しながら、ICTを有効に活用できる仕組みを構築する。個人差に対応した指導方法の研修にも努める。
	自ら学び、自ら考える意欲と態度を育てる学習指導の実践	一人一人を見つめ、伸ばす授業展開の工夫・実践	B	ICTの導入により、個の状況に応じた個別学習は進みつつあるが、それをいかした指導方法の改善が今後の課題となっている。		講師の先生との連携を図りながら、個々の生徒の課題について早期の対応ができるようにする。レポート・テストの内容を含めた検討を行う。	
	学習意欲を高める評価の工夫	C	レポートを中心にした評価になっているが、1単位の時間の評価をすることで、さらに授業改善にいかせる評価の在り方を模索していきたい。	重点項目を掲げた指導に努め、一つ一つの内容が定着するように、指導法を工夫しながら生徒を育てていく。			
生徒指導	基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣の確立、あいさつの励行、2分前行動等の徹底による規律と節度のある生活態度の育成	C	朝、登校できにくい生徒が多く、なかなか改善できない状況である。また、社会性が育っていない生徒もおり関わりを続けながら指導を進めている。	・近隣の高校を含めて、服装の乱れ、目上の人に対する言葉遣いが気になる。地域の教育力の低下も気になる。 ・未来高校の制服が目立つ。 ・昨年度に引き続き生徒指導に課題があるようで、継続して地道な対策・対応を継続してほしい。	命の大切さを念頭に置いた指導を進め、自分の身は自分で守ることと生徒がお互いに協力しながら育っていくことの大切さを教える。	
		共通理解のもと生活全般に対する指導の徹底と交通安全指導の徹底	B	生活改善の活動の中に未来アンパサダーの生徒を関わらせるなど、自分たちでもよい学校をしていこうとする動きができてきている。	・基本的生活習慣の確立やあいさつの励行、節度ある生活態度の育成を重視されていることがわかるが、今後も継続してほしい。 ・基本的生活習慣を守らせる指導をお願いしたい。	共通理解・共通実践を確認し、少ない教職員ではあるが、その良さを生かした指導態勢を整える。生徒一人一人の状況の情報交換を定期的に行う。	
	問題行動の未然防止	生徒一人一人を見つめた個別指導と教育相談活動の充実	A	生徒課を中心にした情報の共有を図る中で一人一人の状況が全教職員が理解した動きができて始めている。	教室に入ると帽子をとらせる、チャイムで勉強に臨む態勢を整えたら、大学で私は、寝ている生徒は机をたたいて起こし、高い授業料を払っているのに、話を聞かないのかと指導をしている。	生徒の状況に応じた指導が進められるように、生徒課を中心にした指導に努める。保護者の連携に努め、協力の得られる人間関係を築いておく。	
		家庭及び地域関連諸機関との連携を密にした指導の推進	C	気になる生徒については、保護者との連携を密にしている。校外での生活については、喫煙などまだ指導が必要な状況である。	・高専連携授業は進路指導にとつて、とても良い取り組みだと思う。 ・学校生活のアンケート結果から、学校生活が楽しくないと感じる生徒が3割程度いることに注視して、悩み相談等を望む生徒に個別に対応できる教育相談活動を充実してほしい。 ・卒業生が来ているが、おとなしすぎる、チャレンジ精神・意欲がないと社会に出てはやっつけられない。 ・「ホウ・レン・ソウ」の指導を徹底すれば、社会に出て役に立つ。	生徒に寄り添った指導に努めるとともに高専連携授業などを活用した進路に関する学習も計画的に進め、自分の人生設計ができる生徒を育てる。	
進路指導	進路指導の充実	生徒の能力・適性・希望を生かして進路実現に向かう生徒の育成	B	転入生が多いこともあり、計画的な進路指導ができにくいところがあるが、将来の進路を見据えた高校生活が送れるよう取り組んでいる。	・高専連携授業を継続することで、働くことの意義や将来の進路について考える機会をもっており、進路への考え方が具体的にできてきている。	十分な学力を身につけることができていない生徒が多くいることもあり、ICT学習で個別指導を進める方法を探っていく。	
		基礎学力の向上と資格取得の促進と望ましい職業観の育成	B	コースに応じた指導を進めるためにICT活用授業を取り入れ、個々に応じた進路で学習する機会を持つようにしている。		課題を抱えている生徒ほど家庭に問題が多い傾向があるので、学級担任を中心にした関わりを強め、一人一人の心を育てる指導に努める。	
		進路に関する適正な情報・データの提供ときめ細やかな相談の実施	C	欠席が多い生徒など、個別の指導が必要な生徒が多くおり、今後も具体的な進路指導をする中でより適切な進路指導ができるようにしたい。		生徒の自立を図る指導を計画的に進め、自分の将来に展望をもつことのできる生徒の育成に努める。そのために校外活動や高専連携授業を有効に活用する。	
		社会人として信頼される人材の育成	B	高専連携授業を継続することで、働くことの意義や将来の進路について考える機会をもっており、進路への考え方が具体的にできてきている。		生徒の手による行事の計画・進行が進められるようにする。そのために未来アンパサダーの活動を積極的に進める。	
特別活動	学校行事の充実	運動会、スキー等の行事を充実させる。	A	自分に自信をもちにくい生徒が多いが、未来アンパサダーを中心に生徒が中心になった活動が浸透しており、意欲的な活動となっている。	・運動会に皆が参加できる種目があればいいと思った。	継続的な指導をすることで、一人一人の生徒に目標をもたせた指導ができるようにする。	
		「感謝の心」を育む	B	教職員の共通理解のもとに長期目標設定シートの作成を行っているが、まだ十分に活用ができていない生徒もいる。			